

7月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント	
現在の景気動向		7月の都内の景気は緩やかに回復しているが、弱い動きも散見される。百貨店の売上は5ヶ月ぶりに増加したが、スーパーの売り上げは3ヶ月連続で減少した。コンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は2ヶ月ぶりに前年を下回った。住宅着工は6ヶ月連続で増加し、公共投資は2ヶ月連続で増加した。輸出は9ヶ月連続で前年を下回った。有効求人倍率は17ヶ月ぶりに低下した。工業生産(6月)は2ヶ月ぶりに前月から増加した。28年4~6月期の関東大企業の設備投資は増加したが、経常損益は減益となった。	
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は弱い動きも散見されるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。	
個人消費	百貨店売上高		百貨店売上高は、前年より土日が2日多かったこともあり、前年同月比0.1%増と5ヶ月ぶりに前年を上回った(既存店ベース)。身のまわり品、雑貨が増加に転じ、食料品が2ヶ月連続で増加したほか、衣料品は減少幅が縮小した。訪日外国人客の購買などにより化粧品は増勢を維持したが、株価の低迷などを背景に美術・宝飾・貴金属は減少が続いている。
	スーパー売上高		スーパーの売上高は、前年同月比▲0.1%と3ヶ月連続で前年を下回ったが、前年より週末が多かったこともあり、減少幅は前月から1.0ポイント縮小した(既存店ベース)。
	コンビニ売上(関東)		関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比2.5%増と41ヶ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.8ポイント縮小した(全店ベース)。
	乗用車登録台数		乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲7.1%と2ヶ月ぶりに前年を下回った。車種別でも、軽乗用車(同▲18.3%)は19ヶ月連続で前年を下回り、普通車(同▲1.7%)と小型車(同▲9.5%)も4ヶ月ぶりに前年を下回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比1.3%増と6ヶ月連続で前年を上回った。利用関係別では、持家(同▲1.3%)、分譲マンション(同▲9.5%)は減少したが、分譲一戸建て(同24.4%増)、貸家(同3.1%増)は増加した。	
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比2.6%増と2ヶ月連続で前年を上回った。発注者別では、独立行政法人(同▲17.1%)、市区町村(同▲17.8%)、地方公社(同▲40.9%)は減少したが、国(同83.8%増)、東京都(同12.3%増)が増加した。	
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比▲6.8%と9ヶ月連続で前年を下回った。主要地域別では、EU向け(同6.4%増)は増加したが、アメリカ向け(同▲6.8%)、中国向け(同▲11.8%)、アジアNIEs向け(同▲8.0%)、ASEAN向け(同▲13.5%)がいずれも減少した。	
設備投資(関東、大企業)		財務省「法人企業統計調査」関東財務局管内分大企業集計によると、関東の法人大企業(資本金10億円以上、金融・保険業を除く)の28年4~6月期の設備投資額は、全産業が前年同期比6.9%増、製造業が同18.5%増、非製造業が同0.3%増となっている。	
企業収益(関東、大企業)		同上調査によると、関東の法人大企業(同上)の28年4~6月期の経常損益は、全産業が前年同期比▲5.8%、製造業が同▲32.1%、非製造業が同7.8%増となっている。	
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.04倍と引き続き高水準ながら、前月から0.01ポイント低下した。有効求人倍率の低下は27年2月以来17ヶ月ぶり。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲0.3%と12ヶ月ぶりに前年を下回った。南関東の完全失業率は3.2%で、前月と同水準だった。	
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲23.2%、負債総額は同▲31.4%で、いずれも2ヶ月連続で前年を下回った。1~7月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比▲8.0%で、小売業(同28.7%増)、飲食店・宿泊業(同12.9%増)などが増加し、卸売業(同▲11.3%)、建設業(同▲13.6%)、製造業(同▲32.8%)などが減少した。	
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.1%増と59ヶ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.4ポイント縮小した。増加幅の縮小は3ヶ月連続。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一)口メモ 低下続く都内の失業率
4月 94.7 (▲7.4)	4月 110.0 (0.8)	5月 100.0 (▲0.5)	東京都が8月末に発表した、2016年4~6月期の都内の完全失業率は、3.4%(男性3.3%、女性3.6%)と前年同期に比べて0.1ポイント低下した。就業者数は747万4千人で、同2千人(同▲0.03%)減少し、完全失業者数は26万7千人で、同8千人(同▲2.9%)減少した
5月 93.6 (▲2.9)	5月 109.2 (▲1.8)	6月 99.8 (▲0.4)	
6月 93.7 (▲5.4)	6月 122.4 (2.6)	7月 99.5 (▲0.4)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨